

2015 FIA F1世界選手権シリーズ第15戦 F1日本グランプリレース 開催レポート

【大会開催概要】

■大会名称:

2015FIA F1世界選手権シリーズ第15戦 日本グランプリレース

■併催:

スーパーFJチャレンジカップレース

ポルシェカップジャパン第10戦 & 11戦

2016年1月13日

株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット



2015F1日本GPについて

2/14ページ

■2015F1日本GP テーマ『JAPAN RISING』

パワーユニットサプライヤーとして、Hondaが7年ぶりにF1に復帰。『日本のチカラ』を世界に知らしめる想いをこめて、テーマとして設定いたしました。

2015シーズンは、目指したレース結果を出すことはできませんでしたが、9年ぶりにHondaF1サウンドが鈴鹿サーキットに響き渡った瞬間は、今シーズンのクライマックスとなりました。



①Hondaが、McLAREN HONDAとして、7年ぶりにF1復帰。

7年ぶりのHondaF1復帰を盛り上げるために、Hondaと連携して、第2期F1ブーム体験層への来場訴求やイベント価値向上に取り組みました。



McLAREN HONDA

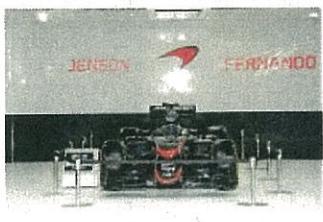
②F1ドライバーがもっともファンと近づくグランプリとして進化。

日本の熱狂的なファンの期待に応え、過去に無い数のF1ドライバーがイベントに出演。かつてない距離で、ファンとF1ドライバーが同じ時間を過ごしました。

『HondaF1』をテーマに、McLAREN HONDAのドライバーやG・ベルガー氏をはじめとした元F1ドライバー、現役＆レジェンドマシンのイベントを実施。



F・アロンソ、J・バトン、S・ハンドルーンら McLaren HONDAドライバーが、GPスクエア イベント会場に登場



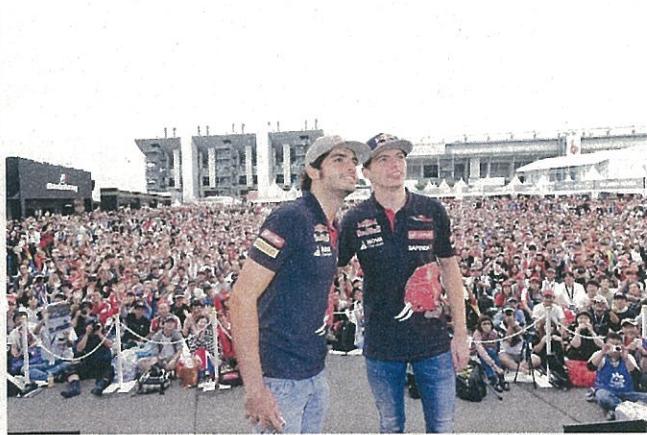
F1 Honda Racingブースには、MP4/29H、MP4/30の2台のMcLaren Honda F1マシンが展示。



伝説のマシン MP4/6とFW11(展示＆デモラン)C

G・ベルガー氏、A・ティピトソン氏、佐藤琢磨選手ら

ほとんどの現役F1ドライバーが、鈴鹿サーキットの要請に応じて、ファンのためにイベントに出演。かつて無い、また世界でも非常に貴重なイベントを実現。小さなお子様を中心に、F1ドライバーとファンが近い距離で日本GPを楽しみました。



F1公式スケジュール以外の木曜・月曜もイベントを開催。木曜は、地元小学校もピットウォークに参加。各学校に通訳スタッフを配置し、より密な交流を図れるよう進化。



	2013年	2014年	2015年	前年差
学童ピットウォーク	5校 302名 うち6校が交流プログラム参加	9校 635名 うち6校が交流プログラム参加	5校 495名 全校が交流プログラム参加	▲4校 ▲140名

【木曜】F1ピットウォーク



（その他）ファミリー施策

レーシングシアター前ひろばにおいて、お子様が様々なF1にまつわる体験や学びができるイベントを実施。



東急ハンズタイアップ『応援グッズクラフト教室』



スーパーフォーミュラ タイヤ交換＆エンジンサウンドパフォーマンス



ドライバー等身大パネルやお子様へのグッズプレゼントも

F1やスーパーフォーミュラのマシンに乗って、写真撮影

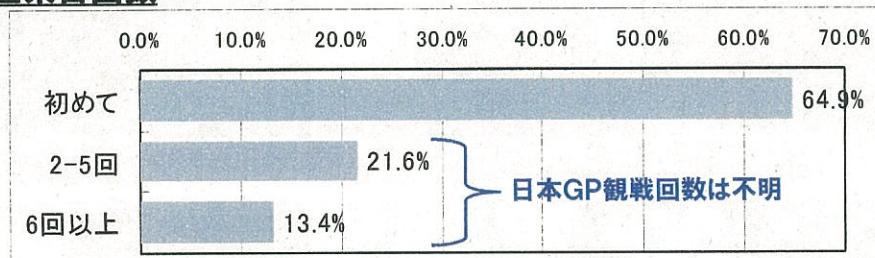
■2015年の総括

- ①McLAREN HONDAの話題性により、動員は前年から増加。
- ②海外からの来場者 約3,000名。(前年より20%以上増)
- ③地元小学生の木曜参加数は昨年から減少も交流のクオリティは拡大。
- ④中勢バイパス バス専用道運用など地域一体となった受入。
- ⑤鈴鹿市民応援席 2014年746枚 ⇒ 2015年856枚

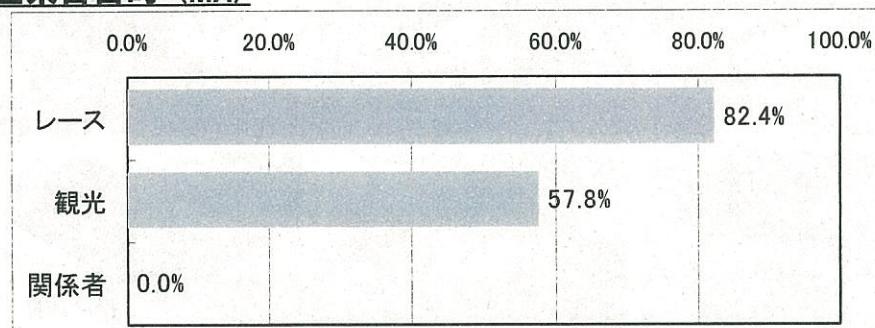
動員数	2014年	2015年	前年差
9月24日(木)	8,000名	8,000名	±0名
9月25日(金)	30,000名	30,000名	±0名
9月26日(土)	48,000名	54,000名	+6,000名
9月27日(日)	72,000名	81,000名	+9,000名
9月28日(月)	イベント中止	6,000名	+6,000名
合計	158,000名	179,000名	+21,000名

■初来日者が多く、レースと合わせて、観光も目的の1つとなっている

■来日回数

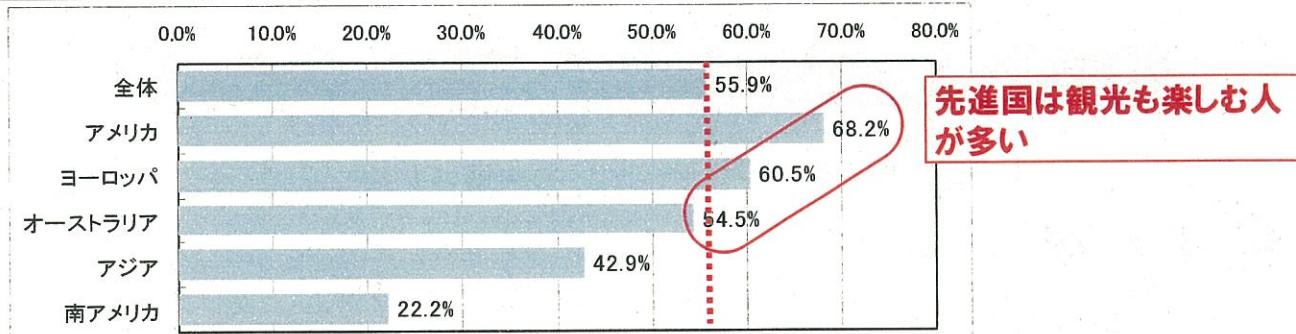


■来日目的 (MA)

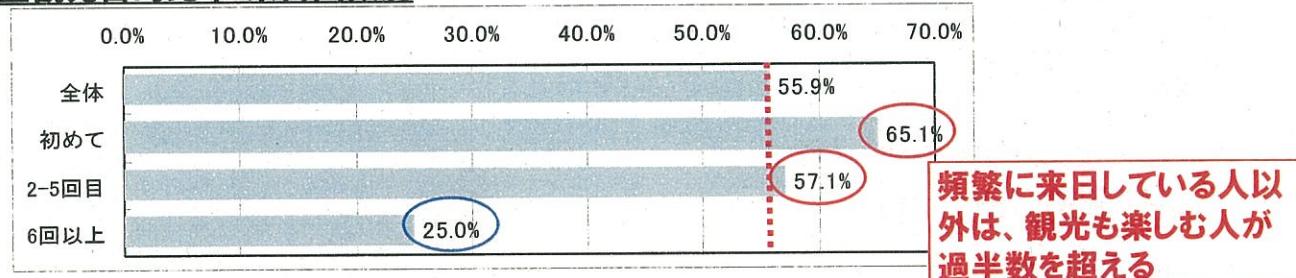


■ 観光を目的の1つとしているのは、比較的裕福な先進国で、来日回数が比較的少ない層といえる

■観光目的比率 地域別

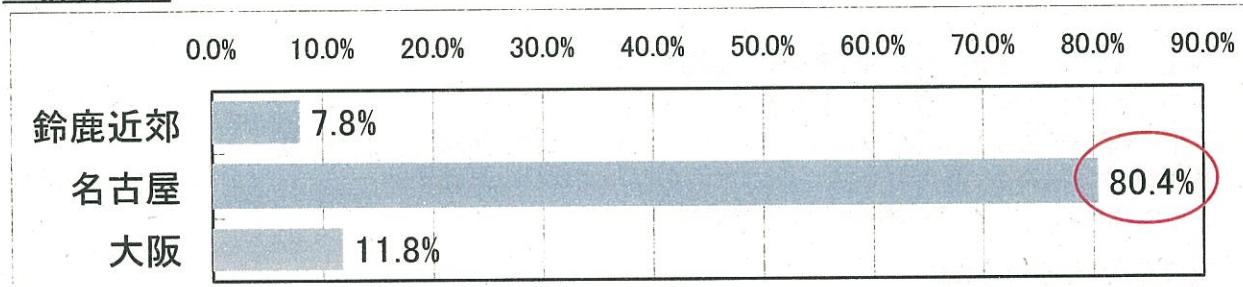


■観光目的比率 来日回数別



- 名古屋に宿泊する人が80.4%と圧倒的に多い
- 外国人にとって、何かと利便性の高い都市部を選択する傾向が高い

■宿泊場所



STEP 1

STEP 2

STEP 3

事前予約

宿泊場所

アクセス

・PCウェブから事前に予約する傾向

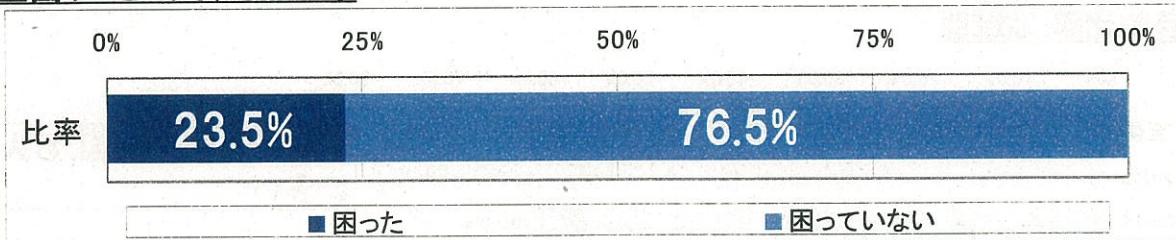
・基本的に名古屋に宿泊
・満室なら大阪

・JR稻生駅/白子
・会場までは、徒歩/
シャトルバス

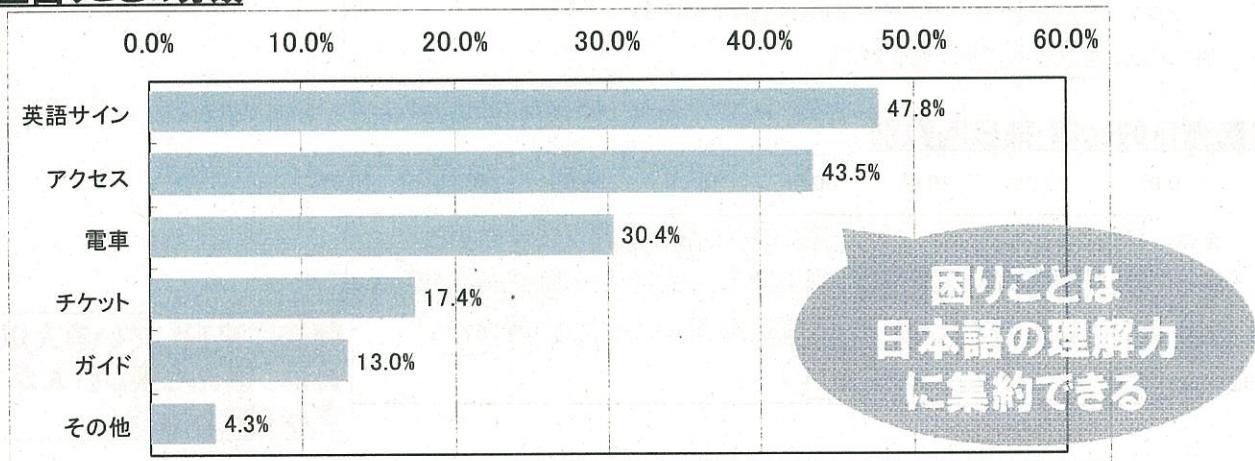
【参考】外国人向けのJapan Rail Pass利用の場合は、JR稻生駅へ行く傾向が高い

■ 鈴鹿サーキットへ来るまでに『困ったことはなかった』が76.5%

■ 困りごと ある/なし比率



■ 困りごとの分類



新チーム(ルノー、ハース)参戦の話題性に加えて、2013年以来の三連休開催となる。Honda復帰2年目で実力発揮に期待したい。

■ 2016年 F1日本GP 開催日 2016年10月6日(木)~10日(月・祝)

■ 2016年 F1日本GPを取り巻く環境

①マクラーレン・ホンダ 復帰2年目

2015年シーズンは非常に厳しい結果となったが、2年目での実力発揮の可能性は十分にある。好成績を残すことがF1の盛り上がりに直結する。

⇒一般メディアにおける国内の話題性高まり

②10月三連休開催

2013年以来の三連休開催となることで、遠方からの来場者を中心に『来場しやすいスケジュール』となることで、来場増が期待できる。

⇒10月10日(月・祝)鈴鹿サーキットイベント開催

⇒10月9日(日)の三重県内宿泊需要増に期待

③新チームの参戦

ルノーおよびハースの参戦。参戦台数も増加し、チャンピオン争いの動向にも影響が出て、盛り上がりが期待できる。

④日本人F1ドライバーは不在

引き続き、F1参戦する日本人ドライバーは不在となる。

2016年のF1シーズンは、新規参戦チームの話題性やHondaも復帰2年目として、実力発揮が期待されるなど、レースとしての見所が増えることが予想されます。さらに、2013年以来の三連休開催も、来場者増への大きな後押しになることが考えられます。

また2014年以降、海外からの来場者が非常に増加している傾向は、今後も続くことが予想され、鈴鹿サーキットとしても、海外におけるPR強化や外国人来場者に対する『おもてなし』に取り組んでまいります。

今後、メディアの皆様のご協力をいただき、今年のF1日本GPの見所を広く発信するとともに、3月のファン感謝デーを皮切りに、F1の魅力をお客様に伝えて、国内外からより多くのお客様を三重県、そして鈴鹿市にお迎えしたいと考えております。

ぜひ鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会の皆様におかれましては、変わらぬご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

(参考)

2016年1月18日(月)	F1日本GP 開催概要発表(リリース)
2016年3月6日(日)より	F1日本GP チケット販売

■F1日本GP(5日間)

10月6日(木)	ピットウォーク・サイン会
10月7日(金)	フリー走行
10月8日(土)	公式予選、前夜祭
10月9日(日)	決勝
10月10日(月・祝)	ファンミーティング

THE 1 AND ONLY
 SUZUKA 2016

